

大阪府営公園マスタープラン《案》の概要

◆策定の背景

- ・社会情勢の変化：人口減少や少子高齢化の進行、ライフスタイルの多様化 など
- ・府営公園の課題：多様化する地域課題への貢献、老朽化した施設や過密化が進む樹木の維持管理 など
- ・大阪府における都市計画のあり方（答申）（H28年2月）：「都市のストックを活かしながら、より質の高い都市づくりを進めていくべき」
- ・国の動向：新たなステージに向けた緑とオープンスペース政策の展開について（H28年5月）
 [重視すべき観点]「ストック効果をより高める」「民との連携を加速する」「都市公園を一層柔軟に使いこなす」
 ⇨大阪府公園基本構想（H5年11月）：整備中心の計画（27公園 2,400 haの開設を目標）、指定管理者制度やPark-PFIなどの新たな制度への対応が必要

▶ **新たな制度を活用しながら、都市や地域、利用者の多様なニーズに対応できる管理運営を中心とした新たな計画（マスタープラン）を策定**

◆都市計画公園のあり方（提言）

（H30年10月）

多様化する都市・まちづくりの課題改善に向けて、**公園を最大限活用するという視点で府営公園を中心に検討**

◆策定の目的

「都市計画公園のあり方（提言）」を踏まえ、今後10年間における**府営公園の整備・管理・運営の基本的な方向性**を示す。

◆府営公園の基本理念

- ・都市の風格を高めるみどりのネットワークの拠点
- ・安全・安心で快適な暮らしを支える重要な都市基盤
- ・多様な個性で都市の活力と魅力を高める 府民共有の資産

◆計画期間

概ね30年後の2050年を見据えた10年間（2019年～2028年）

◆対象

現在開設している19府営公園

◆目標像と、それを実現するための基本方針

【成果指標】・来園者数 2,245万人(H29) ⇒ 2,470万人（1割増） ・利用者満足度 37～72%(H29) ⇒ 47～82%(各公園10%増)

（目標像）

- (1)大阪の**活力と魅力**を高める公園
- (2)府民の**豊かな生活**を育む公園
- (3)府民の**安全・安心**を支える公園
- (4)都市の**自然環境**を次世代に継承する公園



（取組みの方向性）

- ①公園の特色を活かし育み、**都市の顔**となる公園づくりを推進
- ②民間活力の積極的導入により、**地域に貢献し、都市の活力**を生み出す公園づくりを推進
- ③府民の命を守り、**安全・安心・快適**に利用できる公園づくりを推進
- ④多様な自然とふれあい、**都市の環境を保全**する公園づくりを推進

・各公園の特色を活かす取組みの推進



◆都市・まちづくりを先導し続ける戦略的な整備・管理・運営の仕組みづくり

(1)多様な主体による**自立した仕組み**づくり

- ・（仮称）マネジメントプランの策定
- ・協働を支える仕組みづくり（協議会等の設置）
- ・評価手法の確立（PDCAサイクルの構築）

(2)**組織・財源**の確保

- ・公園の管理運営に携わる多様な人材の確保（さまざまな分野の研修機会の構築）
- ・公園の管理運営に係る財源の確保（寄附制度の検討等）

(3)**情報発信**の強化

- ・情報媒体の活用・強化（SNS、タウン誌等の活用）
- ・通信環境の整備（QRコードや無料Wi-Fi等）

